

草津市

教育と保育の一体的提供のための意識調査
結果報告書

【速報値】

平成24年11月

(10月22日時点集計)

草津市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	1
II	アンケート調査結果	2
1	回答者とその子どもについて	2
2	就学前施設（幼稚園・保育所（園）など）の在籍状況について	4
3	就学前施設の入所理由や登降園の時間などについて	5
4	幼稚園や保育所（園）での教育や保育の内容について	8
5	子育て全般について	14
6	教育や保育に関する施策について	20
7	教育や保育に関する制度について	22

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の幼稚園や保育所（園）に対する意識等を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、質の高い教育・保育を一体的に提供するための取組みに向けた基礎資料として活用するために実施しました。

2 調査設計

調査対象者 : 草津市の0歳から5歳児の子どもをもつ保護者 1,000名（無作為抽出）
調査期間 : 平成24年10月11日（木）～平成24年10月26日（金）
調査方法 : 郵送配布・郵送回収

3 回収結果

配布数	回収数	有効回収率
1,000名	340	34.0%

※回収数は、10月22日時点

（注）11月5日現在の回収数は521（回収率52.1%）

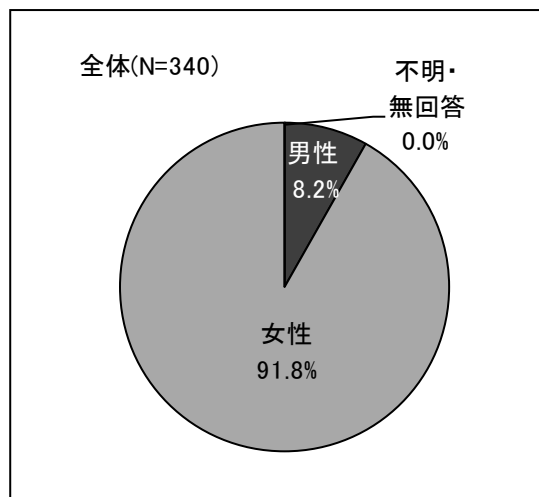
4 報告書の見方

- 回答結果は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。小数第2位を四捨五入しているため、SA（単数回答のことで、複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- MA（複数回答のことで、複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- グラフ及び表のN数（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

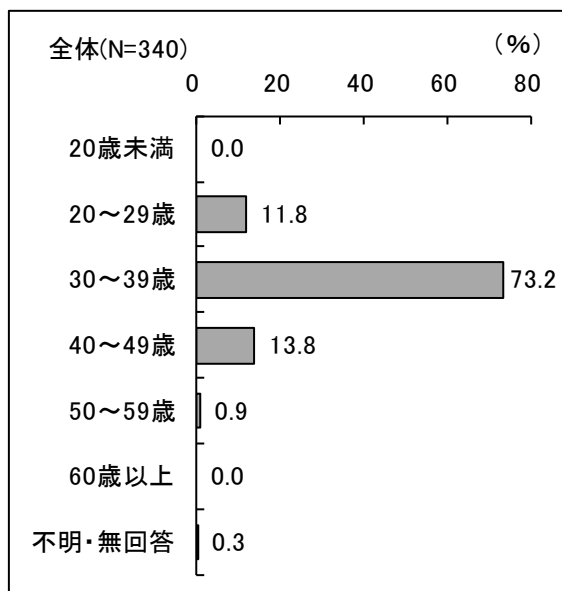
Ⅱ アンケート調査結果

1 回答者とその子どもについて

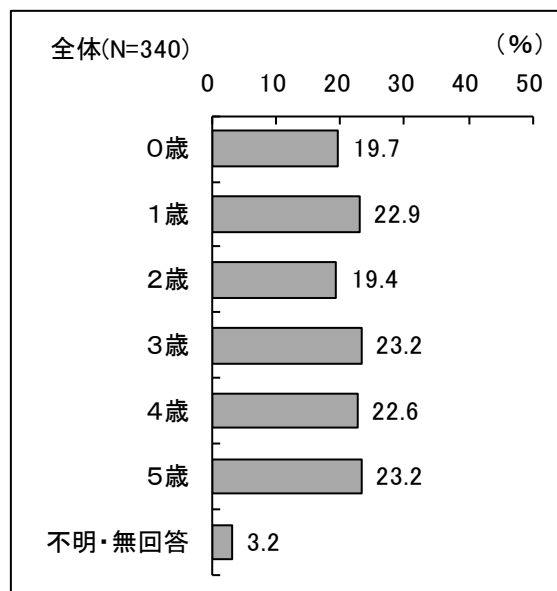
問1 性別(SA)



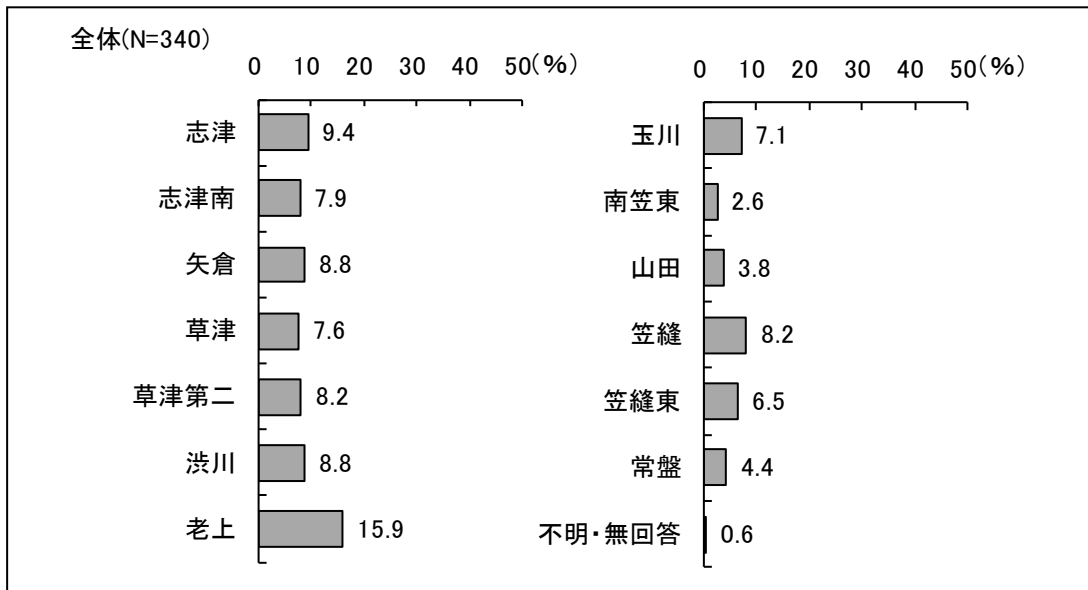
問2 年齢(SA)



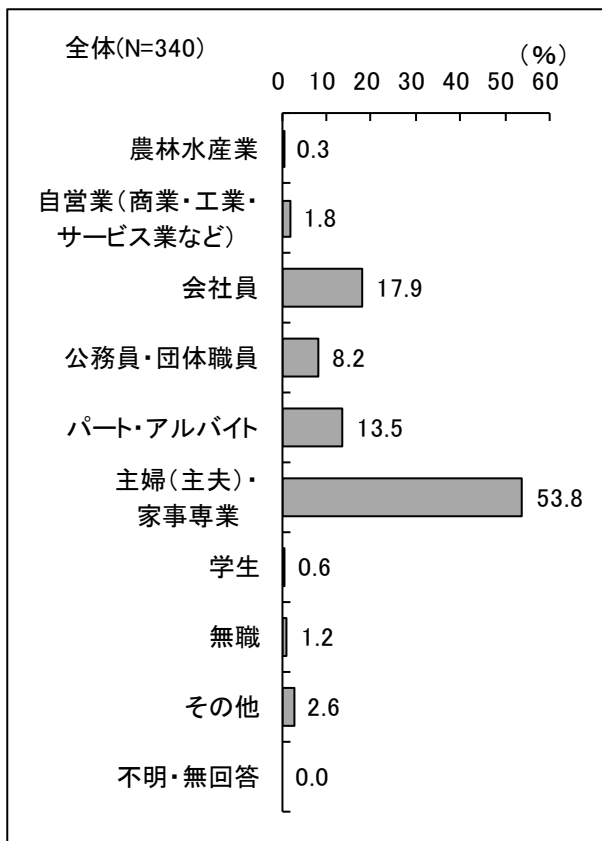
問3 5歳以下のお子さんの年齢(SA)



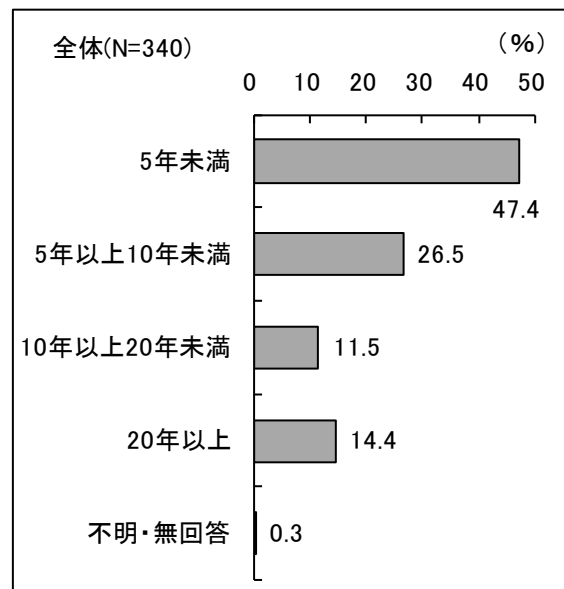
問4 住んでいる小学校区(SA)



問5 職業(SA)



問6 居住歴(SA)

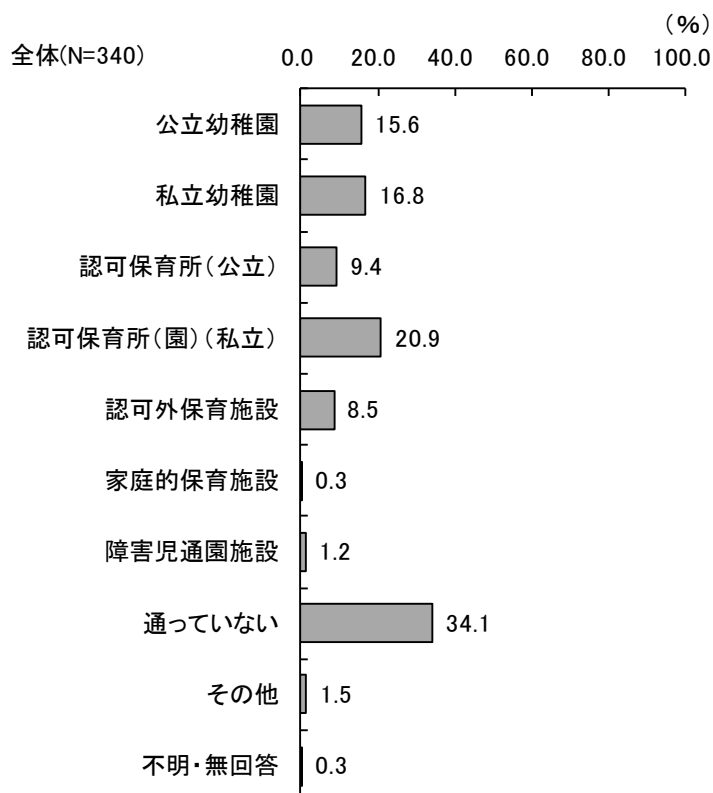


2 就学前施設（幼稚園・保育所（園）など）の在籍状況について

問7 あなたのお子さんは幼稚園・保育所（園）などの就学前施設に通っていますか。（MA） （兄弟姉妹在籍の場合は、あてはまるものすべてに○）

子どもの幼稚園・保育所（園）などの就学前施設の通園状況については、「通っていない」が34.1%と最も多くなっています。

また、通っている施設の中では「認可保育所（園）（私立）」が20.9%と最も多く、次いで「私立幼稚園」が16.8%、「公立幼稚園」が15.6%となっています。

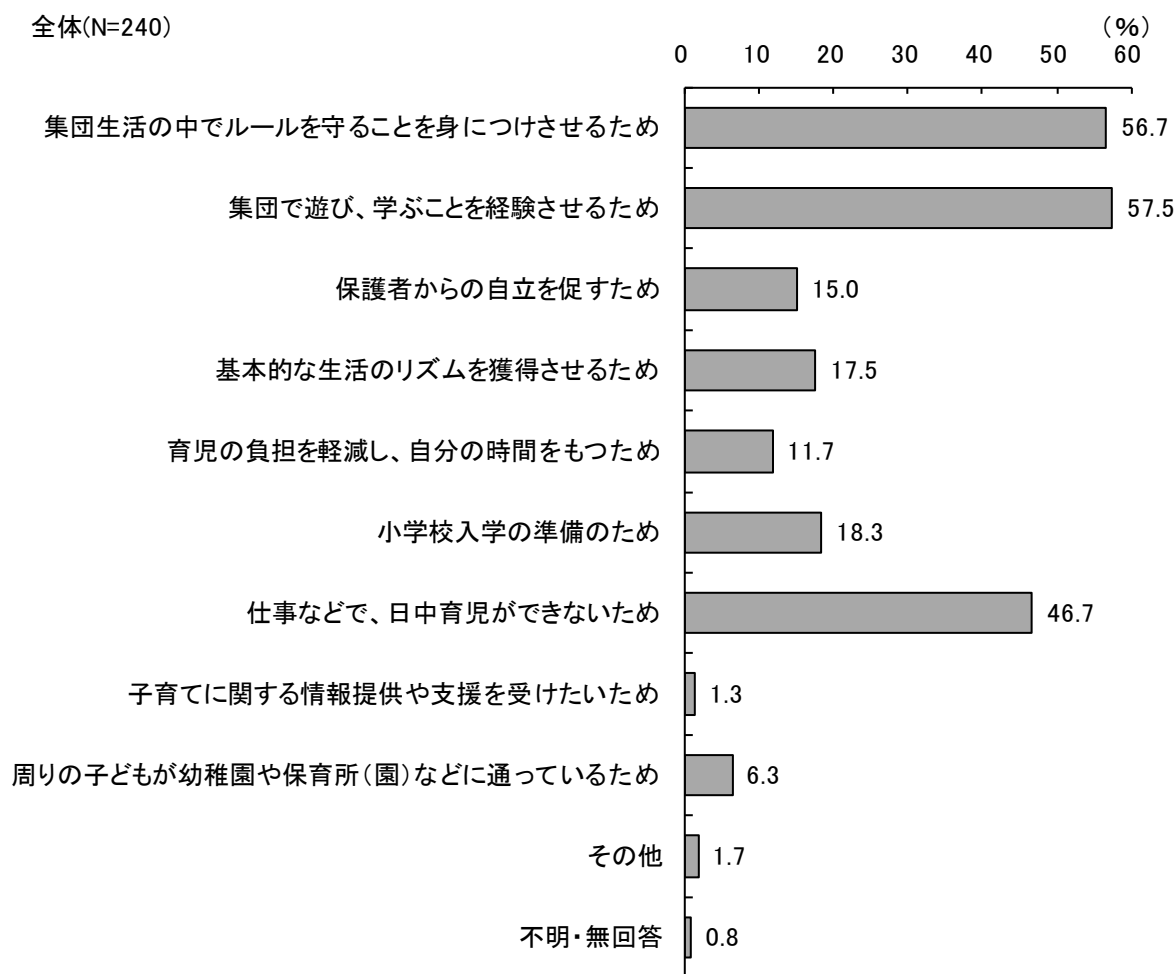


3 就学前施設の入所理由や登降園の時間などについて

問8 現在利用している幼稚園・保育所(園)などに通わせている理由は、次のうちどれですか。(MA、3つまで)

※幼稚園や保育所(園)などに通っているお子さんをお持ちの方のみ回答

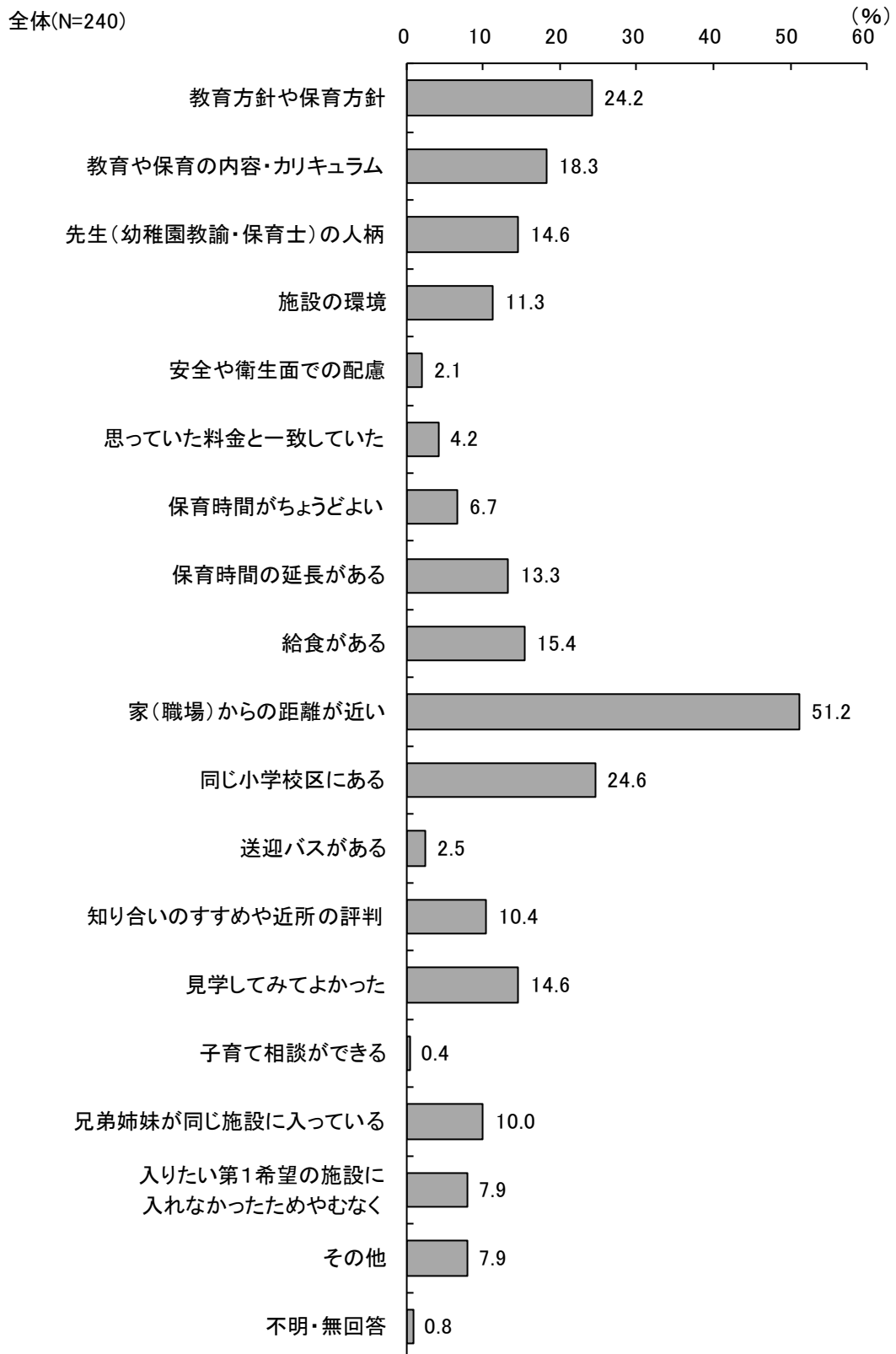
現在、幼稚園・保育所(園)などに通わせている理由については、「集団で遊び、学ぶことを経験させるため」が57.5%と最も多く、次いで「集団生活の中でルールを守ることを身につけさせるため」が56.7%と、集団生活を経験させることを目的とした割合が高い傾向がみられます。また、「仕事などで、日中育児ができないため」が46.7%となっています。



問9 現在利用されている幼稚園・保育所(園)などを選択する際に基準としたことは、次のうちどれですか。(MA、3つまで)

※幼稚園や保育所(園)などに通っているお子さんをお持ちの方のみ回答

現在利用している幼稚園・保育所(園)などを、選択する基準としたことについては、「家(職場)からの距離が近い」が51.2%と最も多く、次いで「同じ小学校区にある」が24.6%、「教育方針や保育方針」が24.2%となっています。



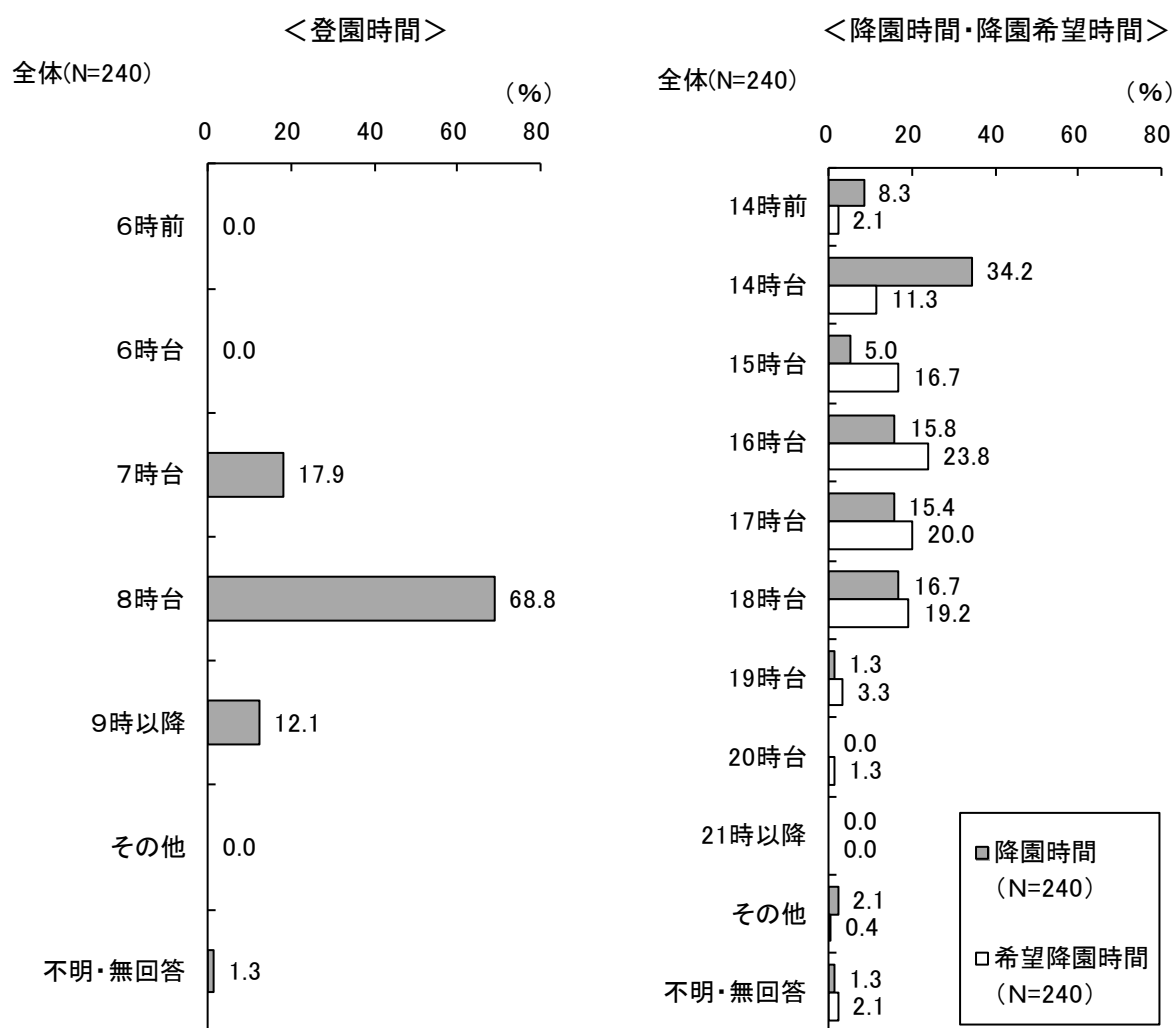
問 10・問 11・問 12 登園時間・降園時間・降園希望時間は何時ですか。(それぞれSA)

※幼稚園や保育所(園)などに通っているお子さんをお持ちの方のみ回答

登園時間については「8時台」が68.8%と最も多くなっています。

降園時間については「14時台」が34.2%と最も多くなっている一方で、降園希望時間については「16時台」が23.8%と最も多く、次いで「17時台」が20.0%、「18時台」が19.2%となっています。

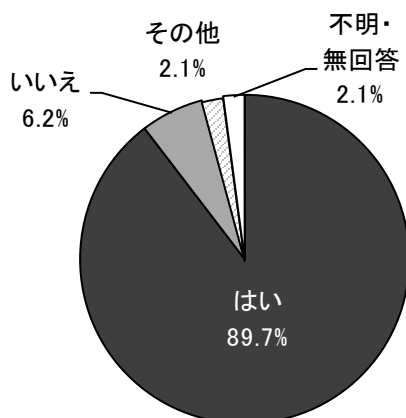
実際の降園時間と希望する降園時間を比較すると、「15時台」から「20時台」では、希望する降園時間の割合が実際の降園時間の割合を上回る結果となっています。



4 幼稚園や保育所（園）での教育や保育の内容について

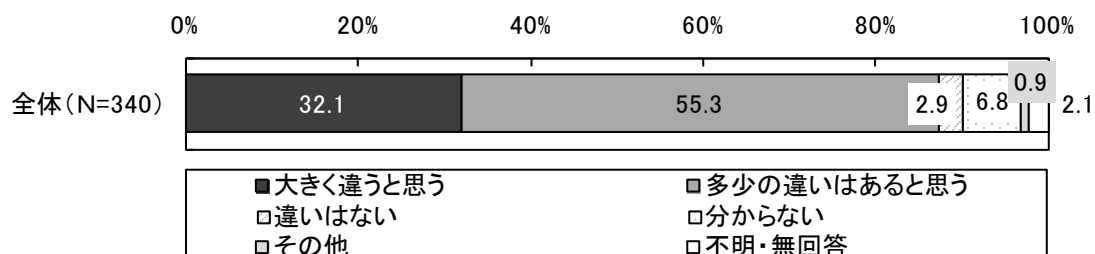
問 13 幼稚園と保育所（園）との違いを知っていますか。（SA）

幼稚園と保育所（園）との違いの認知度については、「はい」（知っている）が89.7%、「いいえ」（知らない）が6.2%、「その他」が2.1%となっています。



問 14 幼稚園と保育所（園）では、行っている教育内容に違いはあると思いますか。（SA）

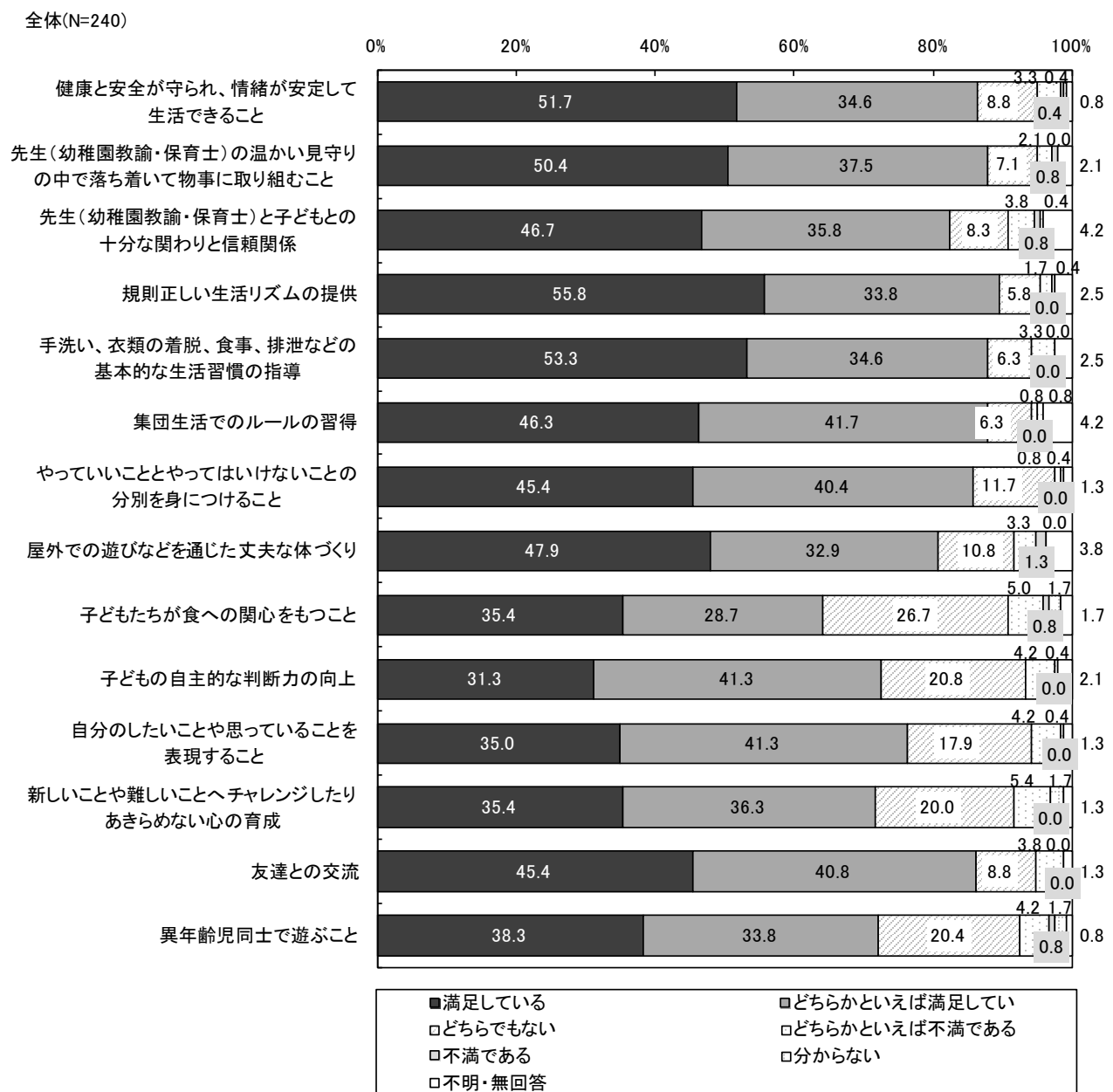
幼稚園と保育所（園）では、行っている教育内容に違いがあると思うかについては、「多少の違いはあると思う」が55.3%と最も多く、次いで「大きく違うと思う」が32.1%となっており、両方を合わせた約9割の方が『違いはあると思う』結果となっています。



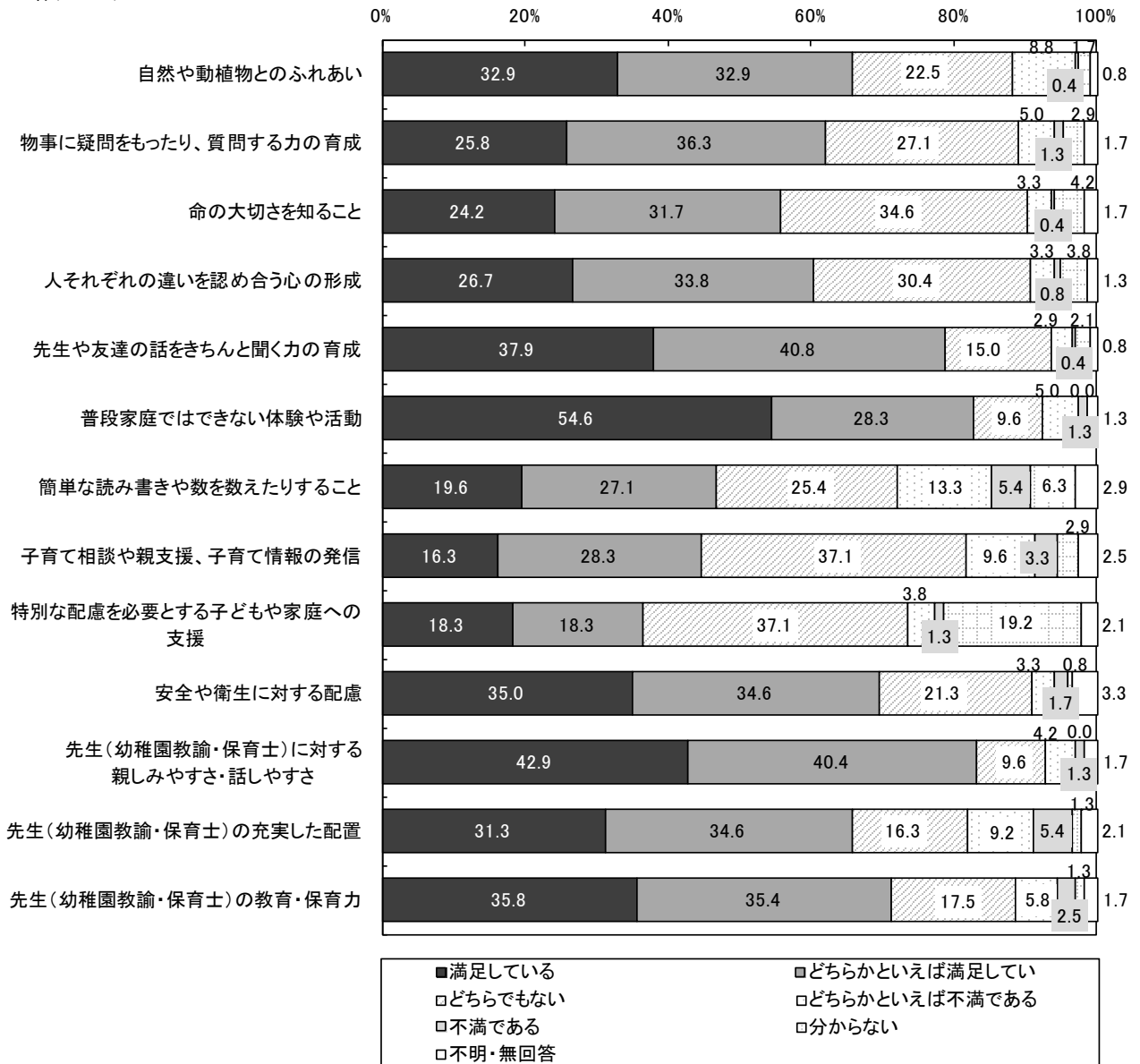
問 15 現在通っている幼稚園・保育所(園)、認可外・家庭的保育・障害者通園施設での教育・保育に対して、それぞれの項目において、どの程度満足していますか。(SA)

※幼稚園や保育所(園)などに通っているお子さんをお持ちの方のみ回答

現在通っている幼稚園・保育所(園)、認可外・家庭的保育・障害者通園施設での教育・保育に対しての満足の程度については、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』では、ほとんどの項目で割合が5割を超えている中で、〔簡単な読み書きや数を数えたりすること〕が46.7%、〔子育て相談や親支援、子育て情報の発信〕が44.6%、〔特別な配慮を必要とする子どもや家庭への支援〕が36.6%となっており、特に〔特別な配慮を必要とする子どもや家庭への支援〕に関しては「どちらでもない」が37.1%と、『満足』との割合にあまり差がみられない結果となっています。

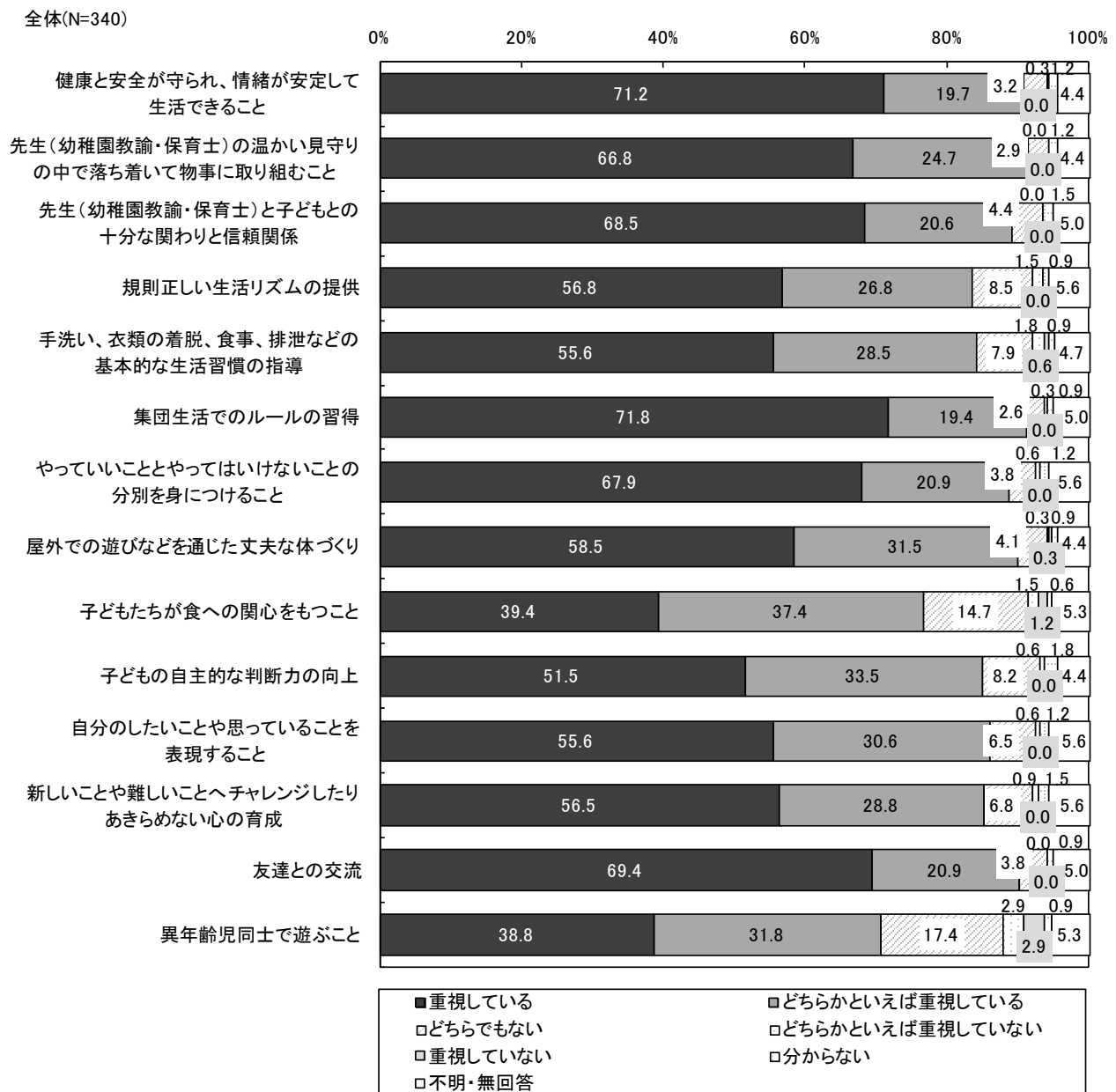


全体(N=240)

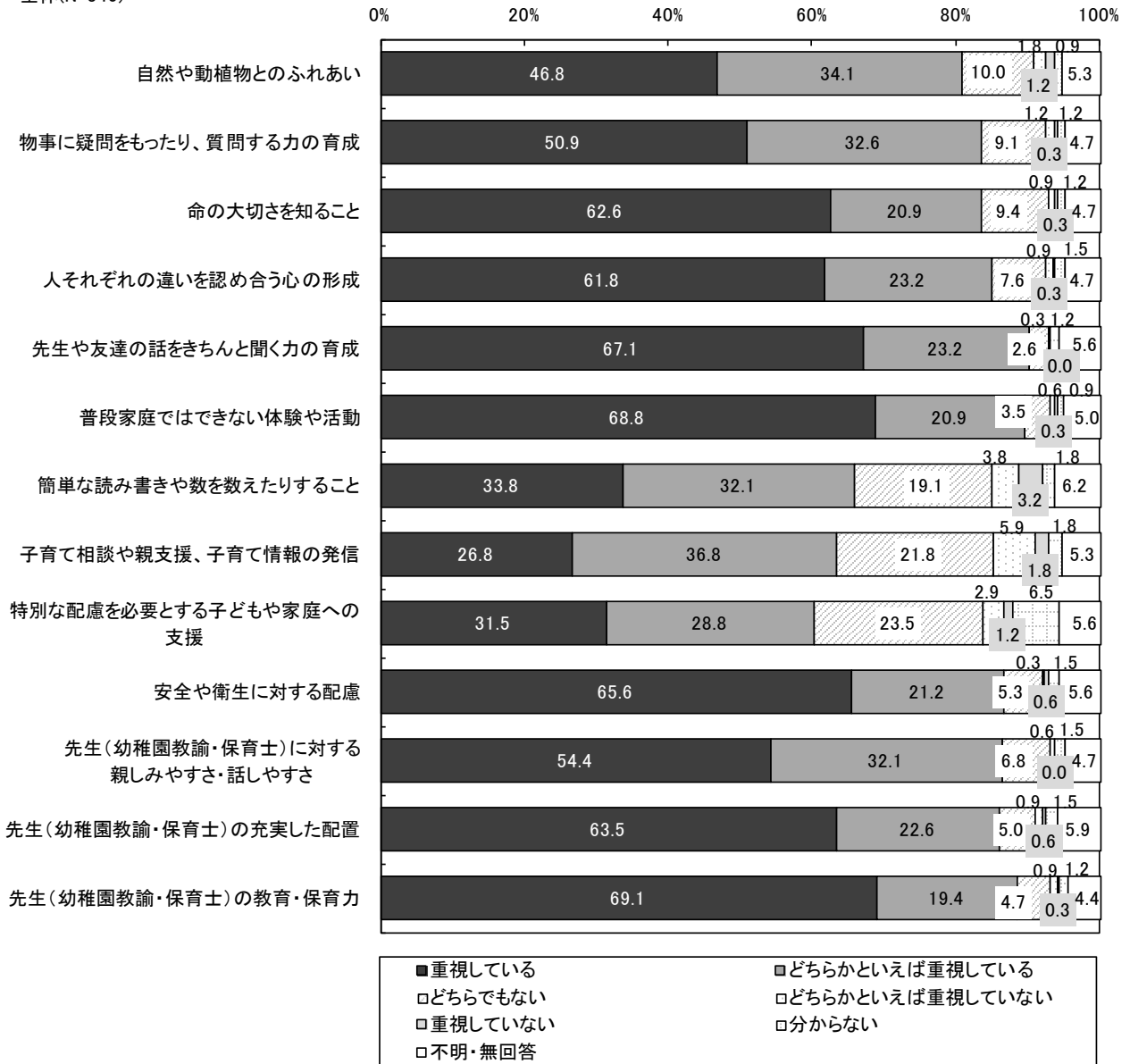


問 16 草津市の幼稚園・保育所(園)での教育や保育について、それぞれの項目において、どの程度重視されていますか。(SA)

現在通っている幼稚園・保育所(園)、認可外・家庭的保育・障害者通園施設での教育・保育に対する重視する程度については、「重視している」「どちらかといえば重視している」を合わせた『重視している』では、ほとんどの項目で割合が7割以上となっている中で、〔簡単な読み書きや数を数えたりすること〕が65.9%、〔子育て相談や親支援、子育て情報の発信〕が63.6%、〔特別な配慮を必要とする子どもや家庭への支援〕が60.3%となっており、「どちらでもない」の割合が三項目ともに2割前後となっています。

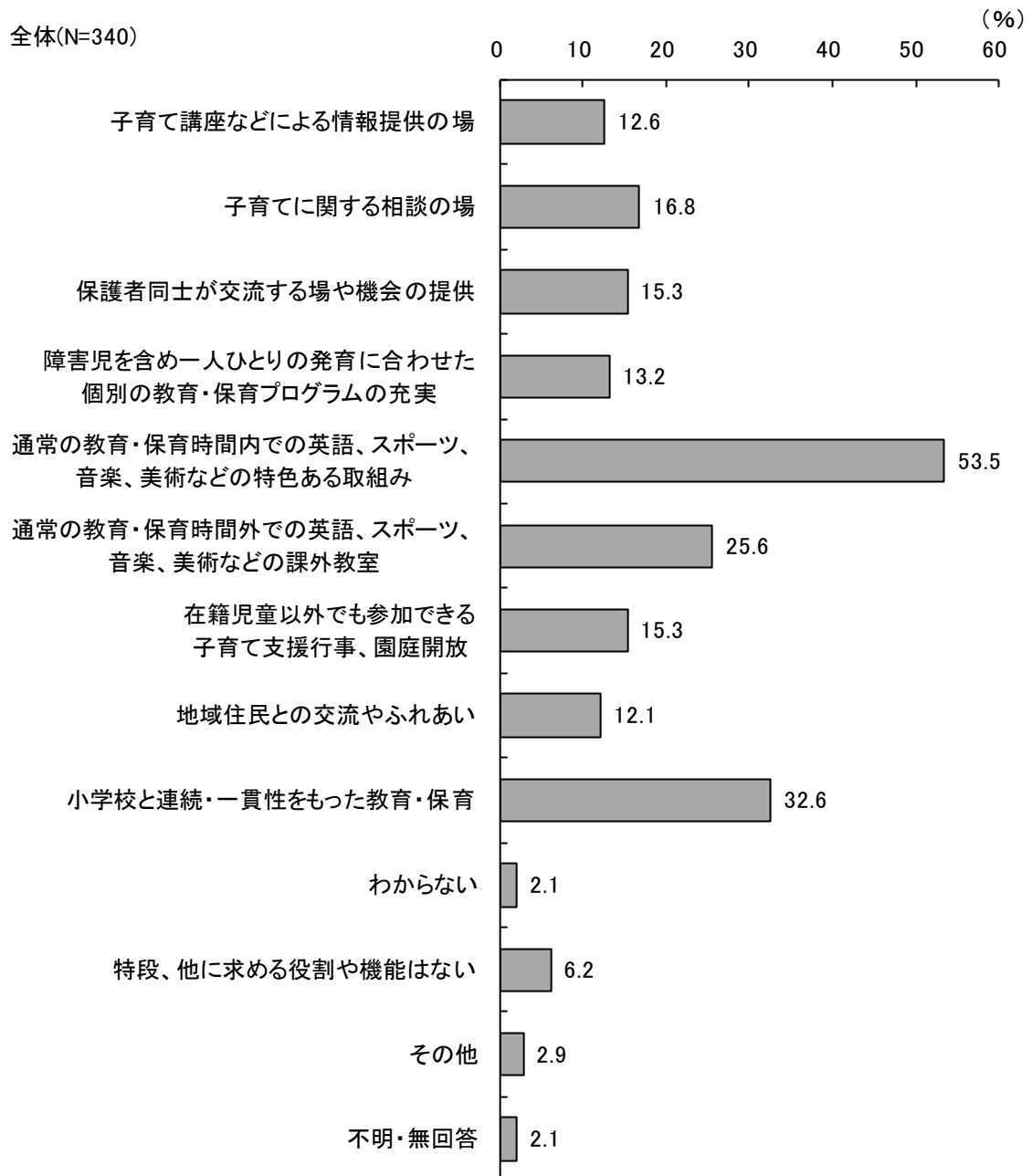


全体(N=340)



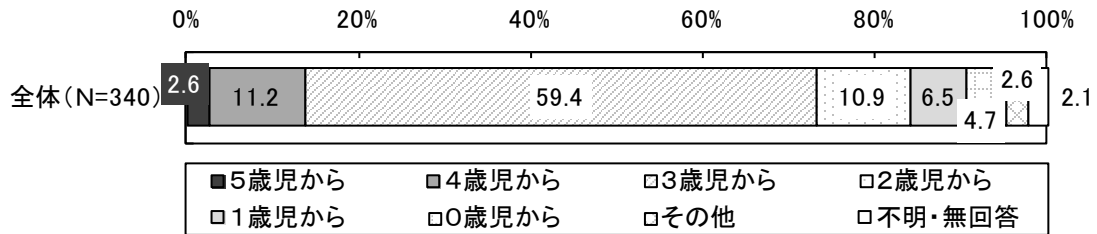
問 17 幼稚園や保育所(園)に通常の教育や保育に加え、充実してほしい役割や機能はありますか。(MA、3つまで)

幼稚園や保育所(園)に通常の教育や保育に加え、充実してほしい役割や機能については、「通常の教育・保育時間内での英語、スポーツ、音楽、美術などの特色ある取組み」が53.5%と最も多く、次いで「小学校と連続・一貫性をもった教育・保育」が32.6%となっています。



問 18 幼児期の教育は何歳から行うことが望ましいと思いますか。(SA)

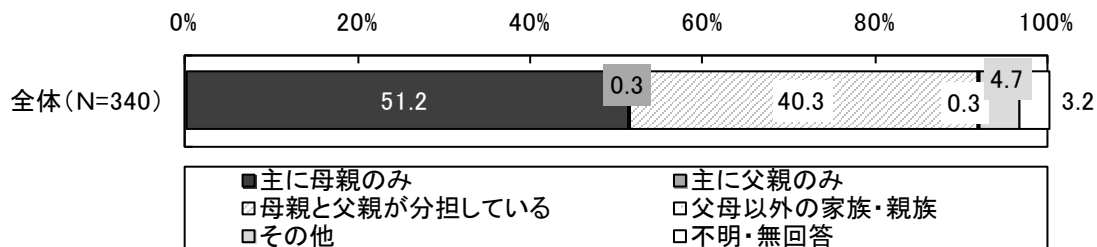
幼児期の教育を行うのに望ましい年齢については、「3歳児から」が59.4%と最も多く、半数以上を占める結果となっています。



5 子育て全般について

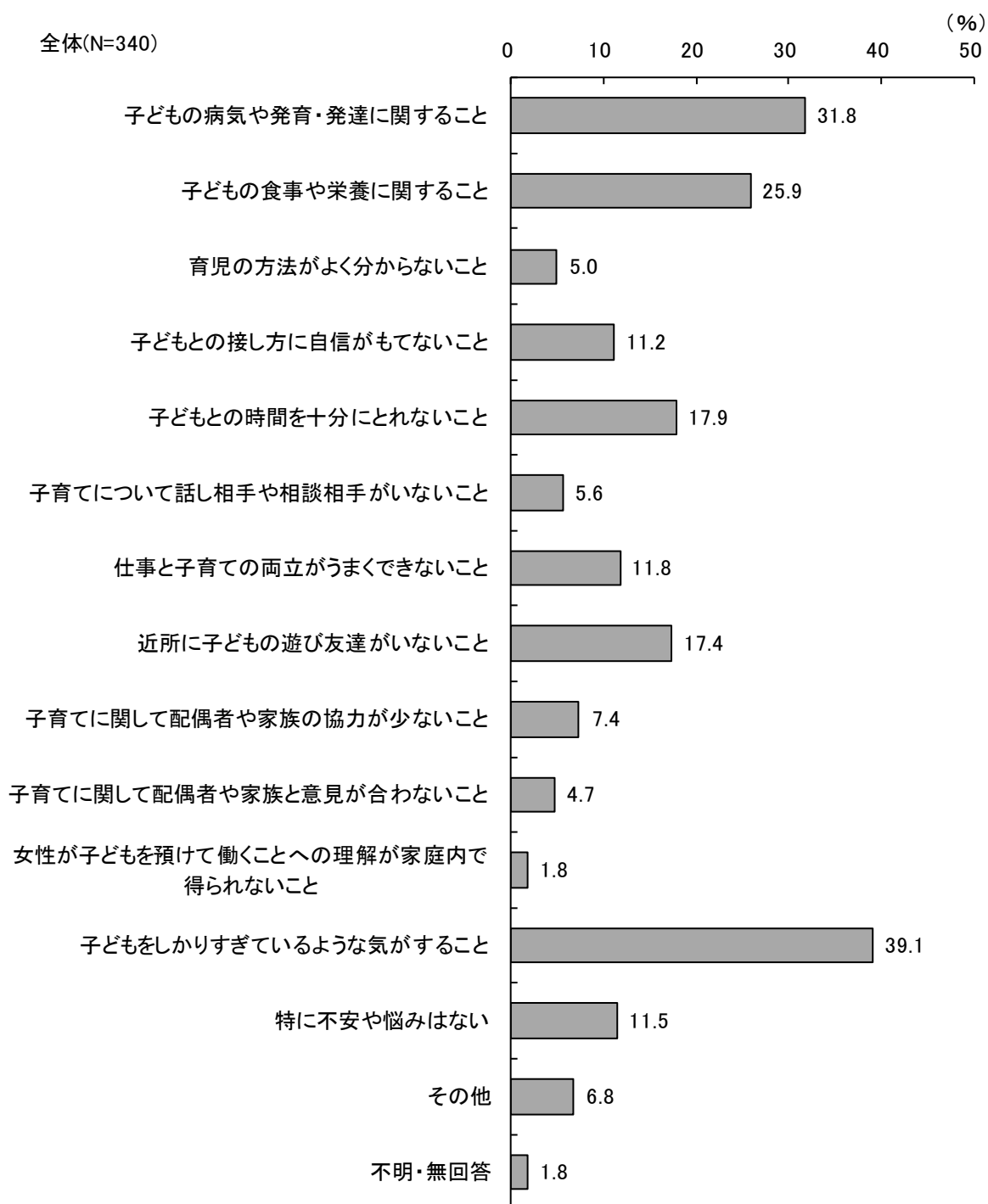
問 19 家庭において、主に子育て(子どもとのかかわりや家事等を含む)はどのような状況ですか。(SA)

家庭における主な子育ての状況については、「主に母親のみ」が51.2%と最も多く、次いで「母親と父親が分担している」が40.3%となっています。



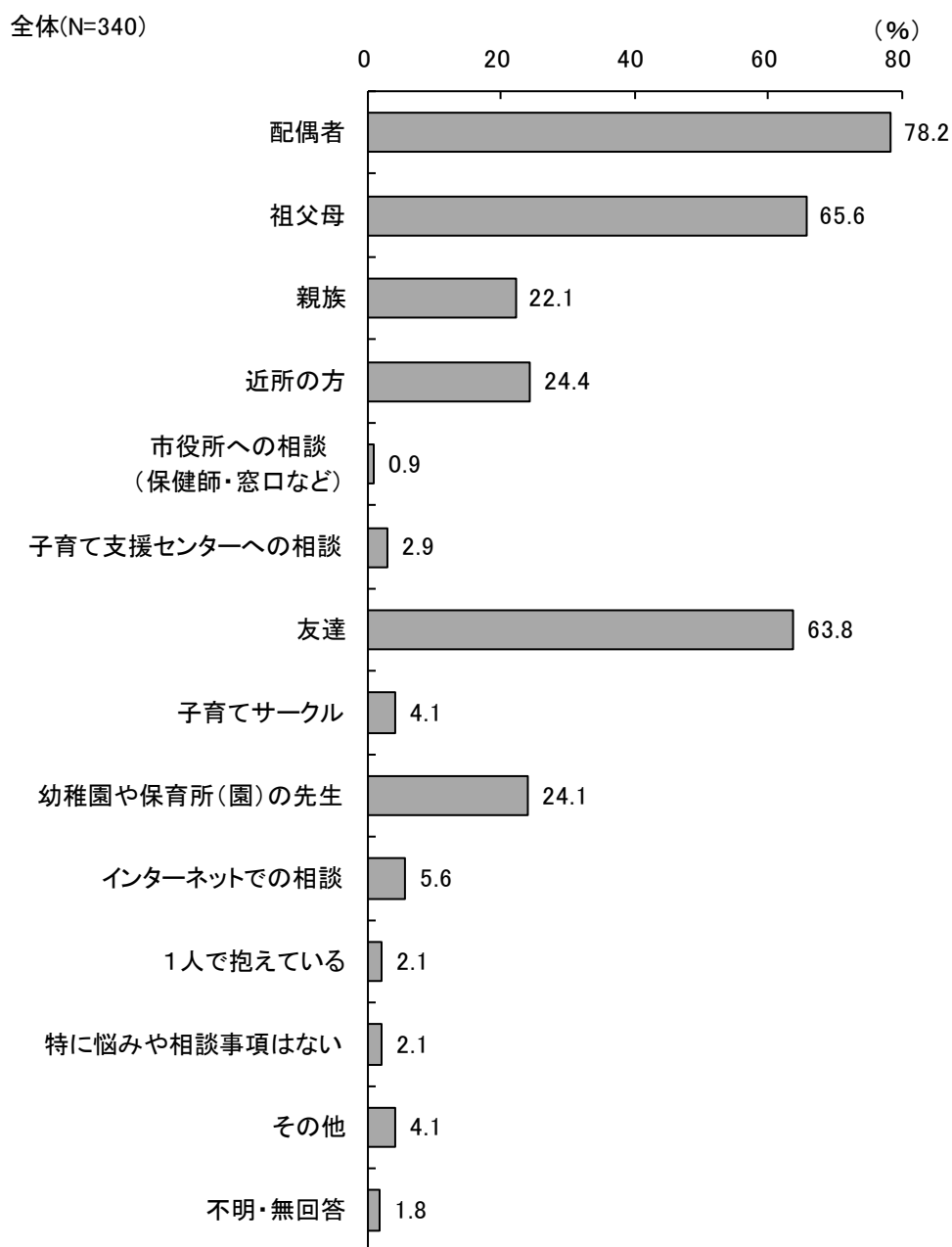
問 20 子育てをしている中で、どのような不安や悩みがありますか。(MA、3つまで)

子育てをしている中で不安や悩みについては、「子どもをしかりすぎているような気がする
こと」が39.1%と最も多く、次いで「子どもの病気や発育・発達に関すること」が31.8%とな
っています。



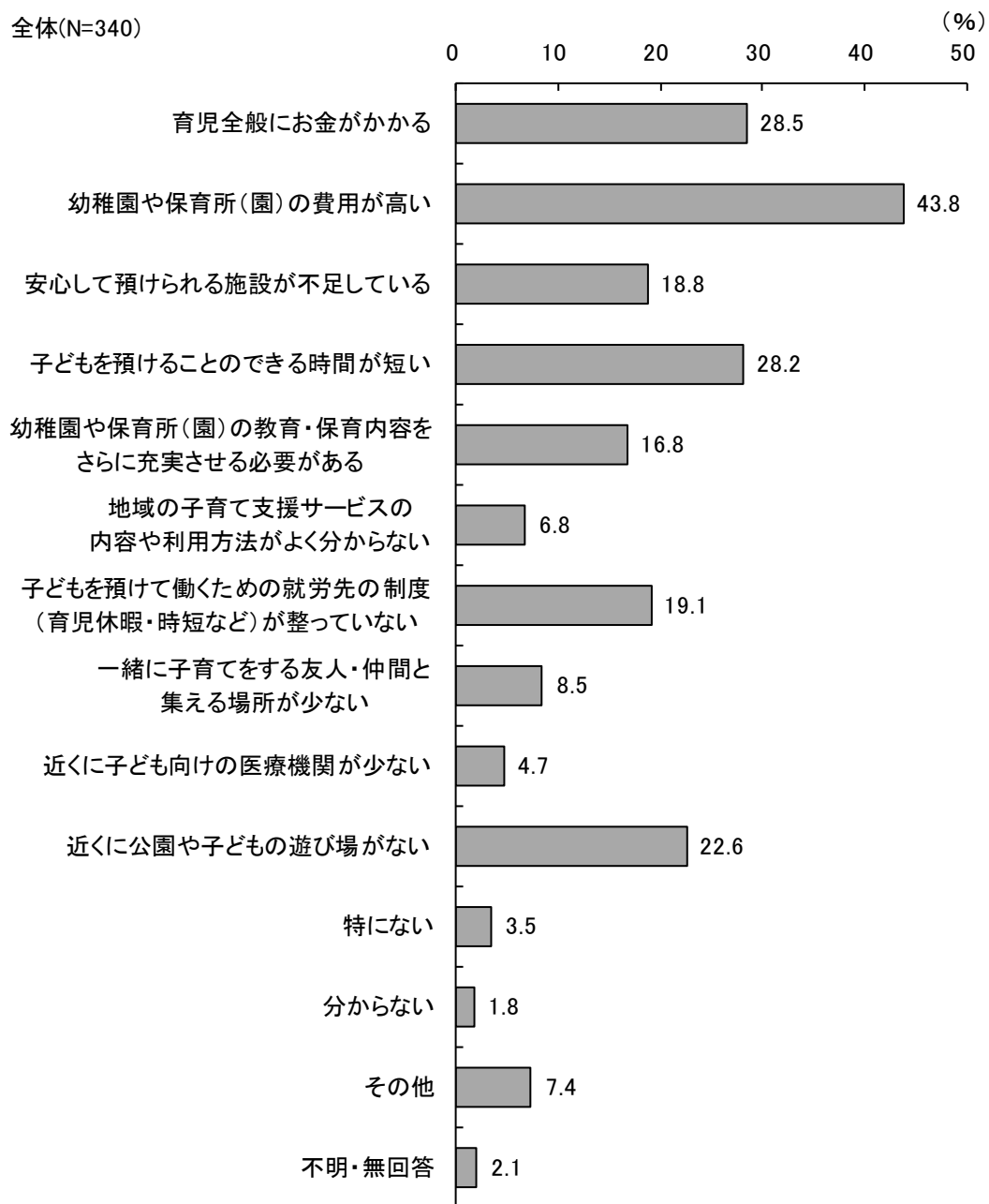
問 21 子育てをしている中で、不安や悩みを打ち明けたり、相談する相手はいますか。 (MA)

子育てをしている中での相談相手については、「配偶者」が78.2%と最も多く、次いで「祖父母」が65.6%、「友達」が63.8%となっています。また、「市役所への相談（保健師・窓口など）」や「子育て支援センターへの相談」など、公的機関を利用する割合は1割を満たない結果となっています。



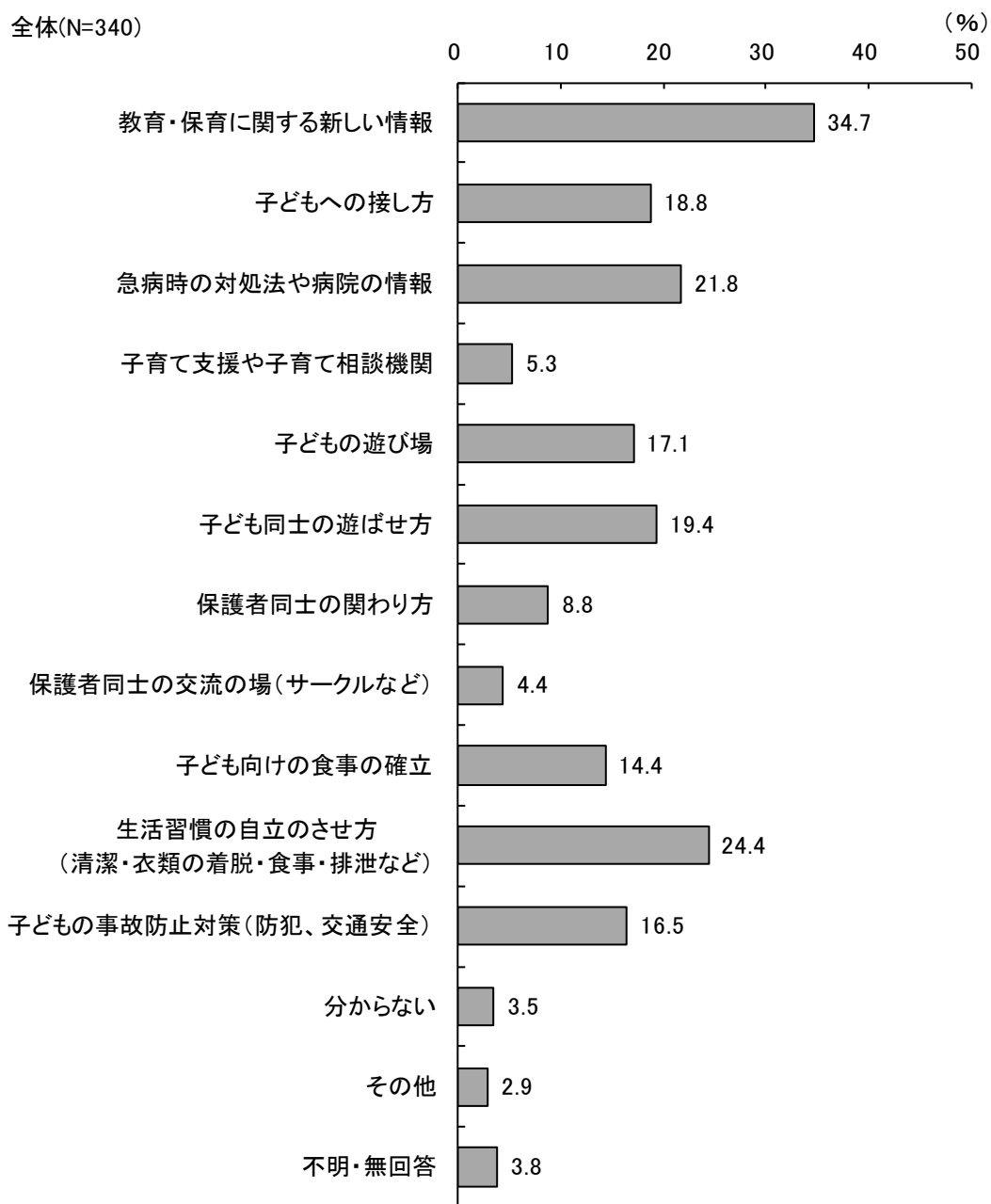
問 22 就学前児童(小学校に入学するまでのお子さん)の子育てにおける問題点や課題として、何が考えられると思いますか。(MA、3つまで)

就学前児童の子育てにおける問題点や課題については、「幼稚園や保育所(園)の費用が高い」が43.8%と最も多く、次いで「育児全般にお金がかかる」が28.5%と、経済的なことを挙げる傾向がみられます。また、「子どもを預けることのできる時間が短い」が28.2%となっています。



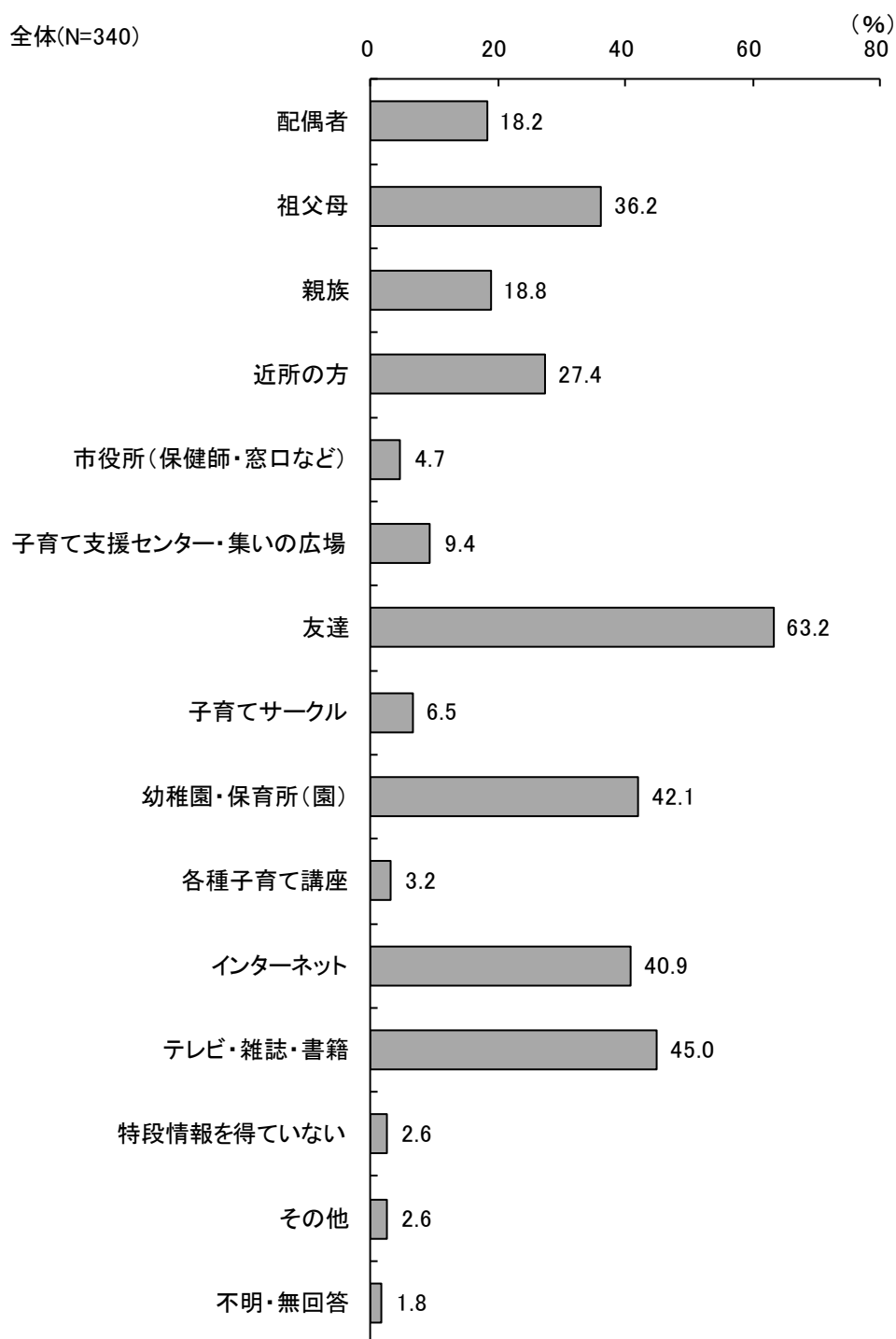
**問 23 子育てにおいて、今最も知りたいこと、または聞きたいことは何ですか。
(MA、3つまで)**

子育てにおいて、今最も知りたいことや聞きたいことについては、「教育・保育に関する新しい情報」が 34.7%と最も多く、次いで「生活習慣の自立のさせ方（清潔・衣類の着脱・食事・排泄など）」が 24.4%となっています。



問 24 子育てについて、どこから情報を得ていますか。(MA)

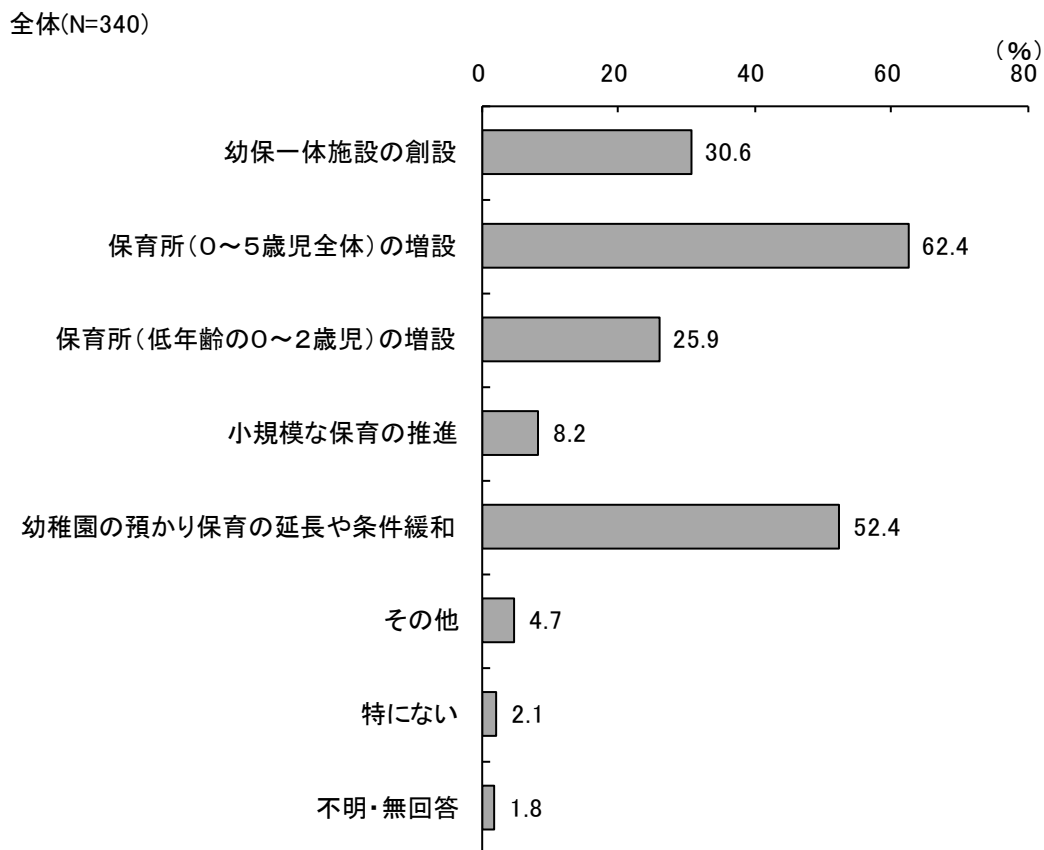
子育てに関する情報収集については、「友達」が63.2%と最も多く、次いで「テレビ・雑誌・書籍」が45.0%となっています。「配偶者」や「祖父母」などの身内や親族よりも、「友達」からの情報や、「テレビ・雑誌・書籍」や「インターネット」などメディアを利用する傾向がみられます。



6 教育や保育に関する施策について

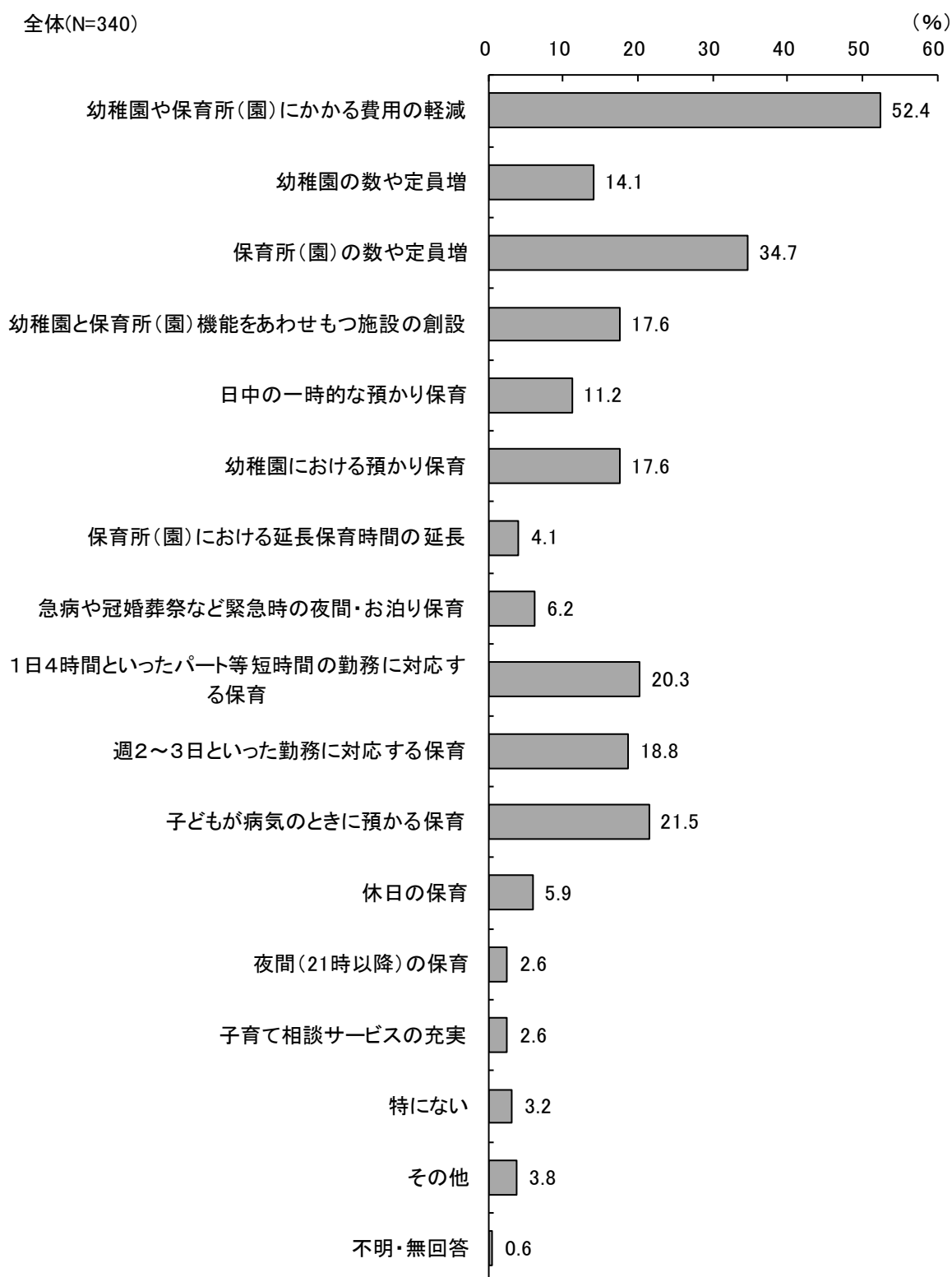
問 25 保育所(園)の待機児童を減らすために必要な施策は何だと思えますか。(MA、3つまで)

待機児童を減らすために必要だと思う施策については、「保育所(0～5歳児全体)の増設」が62.4%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育の延長や条件緩和」が52.4%となっています。



問 26 優先的に実施してほしい就学前児童に対する施策はありますか。(MA, 3つまで)

優先的に実施してほしい就学前児童に対する施策については、「幼稚園や保育所(園)にかかる費用の軽減」が52.4%と最も多く、次いで「保育所(園)の数や定員増」が34.7%となっています。また、「1日4時間といったパート等短時間の勤務に対応する保育」や「週2～3日といった勤務に対応する保育」など、一日の就労時間が短い、勤務日数が少ない場合の対応や、「子どもが病気のとくに預かる保育」などを望む割合が2割前後となっています。

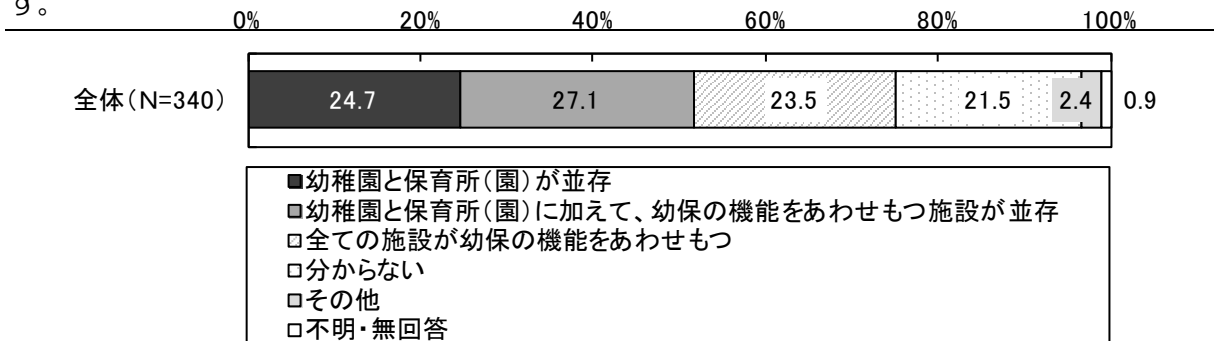


7 教育や保育に関する制度について

問 27 あなたにとって望ましい幼稚園と保育所(園)のあり方は、次のうちどれですか。

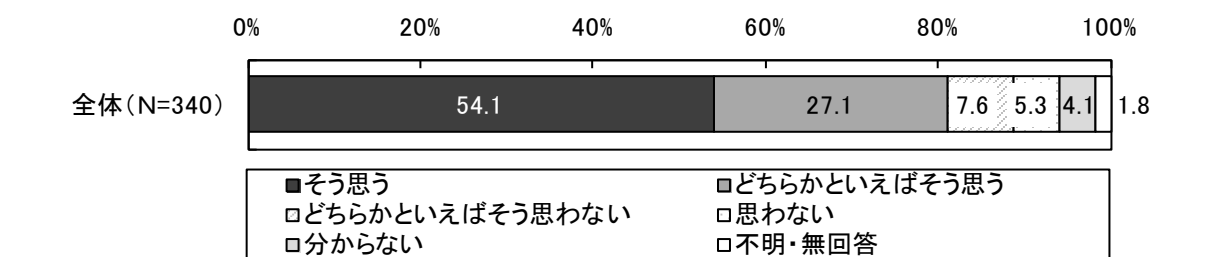
(SA)

望ましい幼稚園と保育所(園)のあり方については、「幼稚園と保育所(園)に加えて、幼保の機能をあわせもつ施設が並存」が27.1%と最も多く、次いで「幼稚園と保育所(園)が並存」が24.7%となっていますが、「全ての施設が幼保の機能をあわせもつ」が23.5%、「分からない」が21.5%と、「その他」を除いて全体的に割合に大きな差がみられない結果となっています。



問 28 親の就労の有無といった要件に関わらず、希望する教育・保育が受けられる制度が望ましいですか。(SA)

親の就労の有無等の要件に関わらず、希望する教育・保育が受けられる制度が望ましいかについては、「そう思う」(54.1%)、「どちらかといえばそう思う」(27.1%)を合わせた、『思う』の割合が81.2%と大部分を占めています。



問 29 今年の8月10日に成立した国の子ども・子育て関連3法をご存知ですか。(SA)

子ども・子育て関連3法の認知度については、「全く知らない」(55.0%)、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」(37.4%)を合わせた、『知らない』の割合が92.4%と大部分を占めています。

